

# 「トランプリスク」に揺さぶられる 経済・金融市場の行方

みずほ証券金融市場調査部チーフマーケットエコノミスト  
上野 泰也

- \*トランプの基本姿勢はあくまでデイール
- \*トランプとFRBパウエルのパウエルな構図
- \*オウンゴールしているトランプ
- \*アメリカが中国を切り離せない理由
- \*「ドル離れ」はありえない
- \*短期金利1%を目指す日銀
- \*日銀はいつ追加利上げに踏み切るのか
- \*コメ問題処理だけでは国民は納得しない
- \*世界の潮流の揺り戻しは続く
- \*日本でも財政規律の意識が薄れてきた



**山縣** それでは開会いたします。（拍手）

本日はみずほ証券金融市場調査部チーフマーケットエコノミストでいらつしやいます上野泰也さんをお迎えしました。

上野さんは上智大学を卒業された後、会計検査院を経て富士銀行に入行されまして、その後ずっとトランプのマーケットエコノミストとしてご発言をされてきた方でございます。

控室でお話を伺いましたら、上野さんは若いので意外だったんですけれども、今月で定年後の2年間の延長雇用を終えて退職し、7月1日からマーケットコンシェルジュという会社を一人で立ち上げて、これからもずっと分析発信を続けていかれるというご予定だそうです。皆さんもよろしくお願ひいたします。

本日は『トランプリスク』に揺さぶられる経済・金融市場の行方』というところで、皆さん最も関心のある、心配もあるテーマだと思しますので、今日は先生のお話を伺って何らかの指針を与えていただきたいと思っております。それでは先生よろしくお願ひいたします。

（拍手）  
トランプの基本姿勢はあくまで  
デイール

**上野** みずほ証券の上野でございます。今日は「トランプリスク」というテーマで1時間ほどお話しさせていただきます。

2回大統領に当選をされて、世界経済にぶちかましの嵐ということで、日本の今の政権もト